

二次救急医療施設における院内トリアージ導入後の現状分析と今後の課題

研究目的

当院の救急外来は二次救急医療の救急告知病院として、年間5,500件を越える救急搬送と約9,000件のWalk-in患者さん（自家用車や直接歩いて受診される方）を受け入れています。煩雑化する救急外来で適切な優先順位で診療を行うためには、Walk-in患者の院内トリアージが重要になると言われています。当院では電話相談に日本版緊急度判定支援システム（JTAS）を取り入れ、来院後の院内トリアージに繋げる当院独自のシステムの導入を試みています。この研究はより安全性の高い救急診療を行うために、現状分析を行い今後の課題を導き出すことを目的としています。

研究の対象・期間

平成26年10月～平成27年9月・平成28年10月～平成29年9月にWalk-inで来院した時間外救急外来受診患者の中で、急性期医療を必要とした患者（SCU入室・ICU入室・緊急手術・緊急内視鏡・緊急血管造影）が対象となります。

研究の方法

電子カルテ・憩システム「救急外来管理日誌」より後方視的単純集計にて上記の患者を対象に、来院（来院時間）から診察開始までにかかった時間を統計調査します。加えてその患者さんが来院した時間帯の「救急車台数」「受診患者総件数」で救急外来の煩雑度を調査し解析します。

個人情報の保護について

研究に際しては、個人情報保護の観点から氏名の匿名化がなされ、セキュリティーのかかったデータベース上で管理されます。

研究成果発表

学会等の誌上での報告を行います。個人名や個人情報が公表されることはありません。

研究の拒否について

上記の条件に該当する患者さんの中で、本研究への協力を拒否される場合は、下記の連絡先にご連絡ください。なお、協力を拒否されることで患者さんに不利益が生じることは一切ありません。

研究組織、研究責任者

研究者：天理よろづ相談所病院 救急外来 松元 友子 石本 真治
研究責任者：天理よろづ相談所病院 救急外来 多曾田 邦江

お問い合わせ先

天理よろづ相談所病院 看護部
住 所：〒632-8552 奈良県天理市三島町200番地
電話番号：0743-63-5611